

労働法制の改悪反対

長時間労働、残業代233億円 チャラを合法化

ホワイトカラー労働者を「自由度の高い働き方」をする者と決めつけて、労働時間の法的規制を外してしまおうというものです。本年、労働基準監督署に摘発された残業代の不払いは、100万円の大口だけでも1520企業、年間233億円にも達しています。しかし日本経団連は反省するどころか、この支払義務をなくして、労働者をただで長時間働かせようとしています。これでは、多くの労働者が心と健康と家庭生活を破壊され、あげくは過労死という最悪の事態に…。

